第６次白鷹町総合計画 後期基本計画を策定しました

【問い合わせ】企画政策課企画調整係　☎85-6123

町ではこれまで、「人、そして地域がつながり　輝き続ける　潤いのまち」を将来像として掲げた「第６次白鷹町総合計画基本構想」（令和２年度～ 11 年度）および「第６次白鷹町総合計画前期基本計画」（令和２年度～６年度）に基づき各種施策を展開してきました。

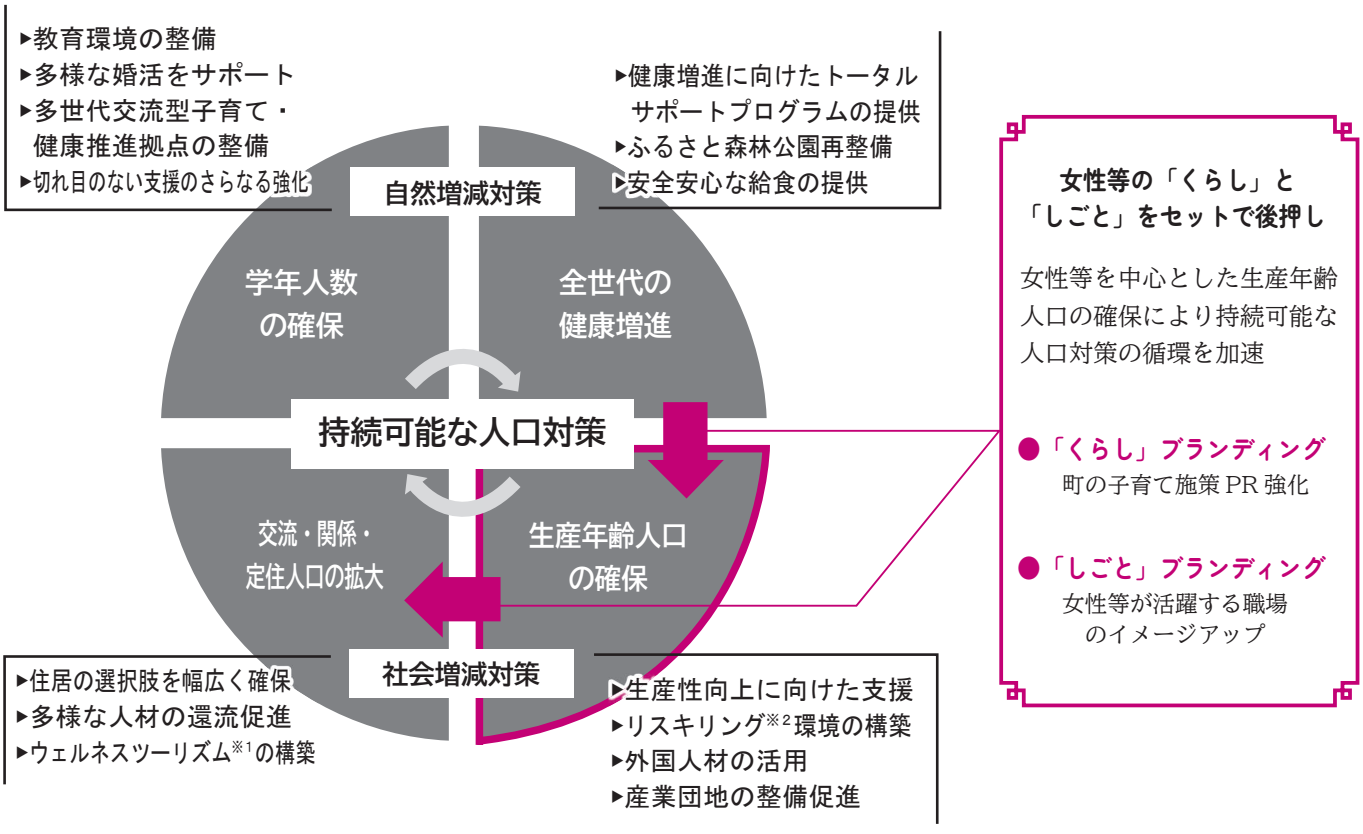
このたび、これまでの取組の評価・検証を踏まえつつ、「第６次白鷹町総合計画後期基本計画」（令和７年度～ 11 年度）を策定しました。この後期基本計画では、重点４分野である「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」を施策の柱として着実に進め、持続可能なまちを目指します。

また、人口減少社会の中ではありますが、引き続き、将来人口目標（2040 年：10,500 人程度）を設定し、「持続可能な人口対策」を重点プロジェクトとして位置づけ取組を強化してまいります。

《重点プロジェクト》持続可能な人口対策

人口減少社会においても、持続可能なまちを形成するため、引き続き本町版「職住育近接」の実現を図りつつ、自然増減と社会増減の両面から対策を講じていきます。「人への投資」を中心に、一定の出生数や子育て世代の転入促進・転出抑制により人口を確保するとともに、全世代の健康増進を進めることで元気で健康に暮らし・学び・働ける環境を整えます。加えて、本町と継続して関わる関係人口や外国人を含む多様な人材の還流がさらなる好循環を生み出す施策を展開します。

また、それらを支えるインフラ整備により、持続可能な地域社会を目指します。特に、まちづくりアンケート結果や人口動態を踏まえると、生産年齢人口の確保が急務であることから、女性等の活躍推進や定住に向けた取組を強化することで、好循環を後押ししていきます。



※１ウエルネスツーリズム…地域資源に触れつつ、心身の健康増進につながる観光のかたち／※２リスキリング…新しい知識や技術を学びなおすこと／※３PDCA サイクル…計画（P）、実施（D）、評価（C）、改善（A）を繰り返すことで、計画の進行管理を適切に行いその成果を高める仕組み／※４EBPM…データや合理的根拠に基づく政策立案

01 人づくり

将来地域を支える人材を育成する上では、基盤的な力を確実に身に付けさせるとともに、地域やそこに住む人を知り、郷土に愛着を持つ機会を創出することが重要です。このため「ふるさと教育」などの地域課題の解決等を通じた探究的な学びを推進します。

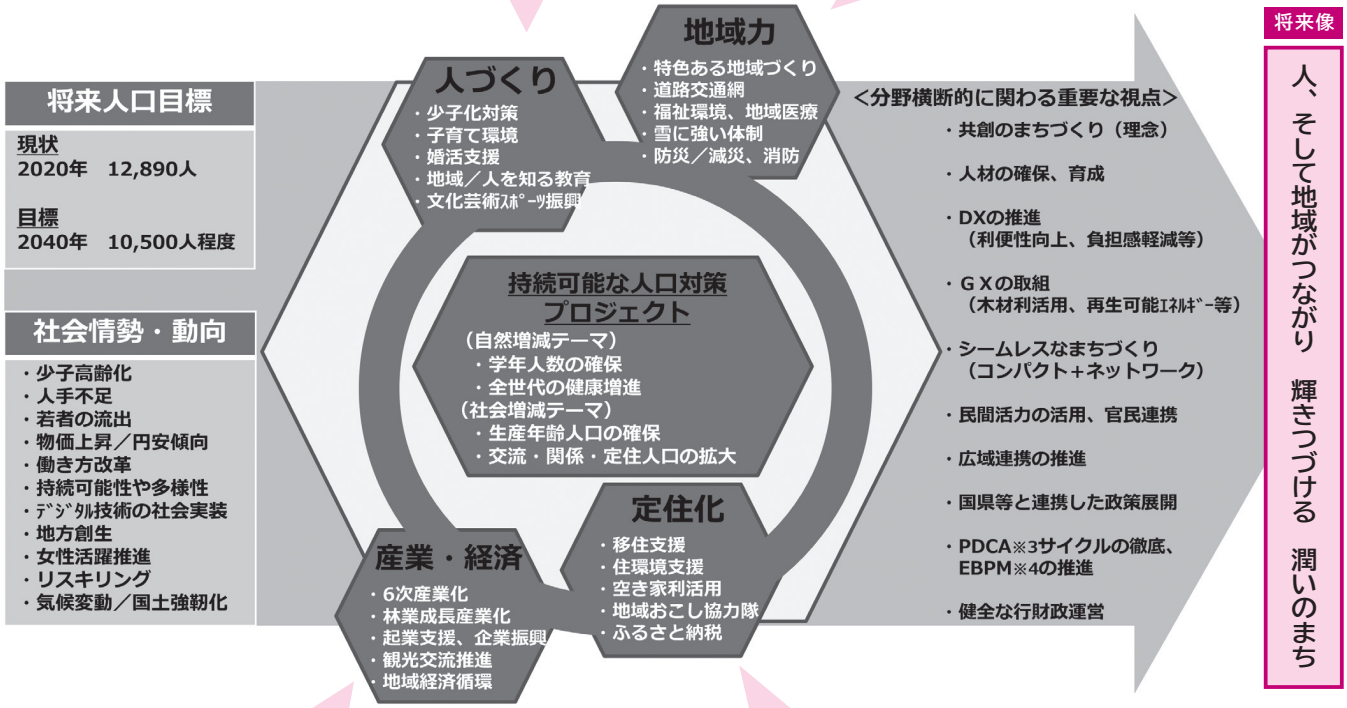
また、若い世代の結婚や子育ての希望を実現するためには、子育て世代の夫婦がともに仕事と子育てを両立でき、安心して出産、子育てができる環境整備が重要です。このためワーク・ライフ・バランスを推進しつつ、引き続き、結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援、婚活サポートなど、少子化対策を総合的に推進します。

03 地域力

人口減少社会においても、人と人がつながり、豊かさを実感でき住み続けることができる地域づくりを進めることが重要です。

各地区コミュニティセンターを地域の拠点として、特性を生かしたそれぞれの地域づくりを促進しつつ、地域の担い手の育成・確保を進めていきます。

また、危機管理体制やきめ細やかな除雪体制の確保、道路交通網の整備促進、住環境の整備を図っていきます。このほか、再生可能エネルギーの利活用による環境に配慮した社会形成、高齢者、障がい者への思いやりのある福祉環境を充実しつつ、ＩＣＴを活用した全世代型の健康づくりに取り組んでいきます。



02 産業・経済

地域社会が持続可能であるためには、若い世代が希望を持って地域で働き、生活することができるまちづくりを行っていく必要があります。

白鷹らしい産業の振興に向け、農林業では認定農業者や集落営農の経営発展に向けた支援、林業の成長産業化に向けた取組、商工業では企業立地環境の整備やリスキリング支援、生産性向上に向けた支援などを実施していきます。

さらに、観光面では、自然環境や郷土食・伝統文化といった地域に残る魅力的な素材を磨き発信していくとともに、健康増進と結びついたウエルネスツーリズムを構築・展開することで交流人口の拡大を図ります。

04 定住化

新たな人の流れを形成するため、移住のための情報提供や相談支援を充実させることで、ＵＩＪターンを促進します。併せて、移住希望者の住宅取得への支援など、移住にかかる経済支援の拡充や、空き家の利活用を通じて住居の選択肢を幅広く確保しつつ、移住希望者とのマッチングを進めていきます。

また、しらたかマルチワーク事業協同組合を核とした情報発信、都市部での交流イベント、副業人材とのマッチング等の実施により、町に新しい人の流れを形成し、町と継続して関わり続ける「関係人口」の創出を図ります。これらの取組によって、総合的に定住化を進めていきます。